



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

## 病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

## CONTENTS

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ごあいさつ               | 1   |
| 循環器科の紹介             | 2・3 |
| 管理部医事課の紹介           | 4   |
| 薬剤科より               | 4   |
| 消化器科・内科 宮永医員の自己紹介   | 5   |
| 当院における情報化の推進について    | 5   |
| トピックス               | 6   |
| 看護週間イベント開催報告他       |     |
| 病院職員紹介              | 6   |
| 地域連携医のご紹介           | 7   |
| 飯野小児科内科医院・栗山内科クリニック |     |
| 編集後記                | 8   |
| アクセスマップ             | 8   |



## ごあいさつ

新緑の候、市民の皆様にはご清祥のことと存じます。

去る3月11日には未曾有の東日本大震災が発生しました。今だに被害の全貌すら明らかではなく、復興も進んでいない状況で、悲しみに堪えません。被災された皆様には心からのお見舞いを申しあげ、不幸にも犠牲になられた方々には哀悼の意を捧げたいと思います。

お蔭様で亀岡市立病院は、この6月に開院8年目を迎えることとなります。私たち職員一同はこれからも、患者様お一人おひとりが納得いただけるような診療をめざしてまいりたいと考えています。理念に掲げておりますように、この病院は急性期医療を中心とした診療を行っております。“急性期医療”とは、「急におこった病気。（たとえば、消化管出血、骨折など）」、「落ち着いていた生活習慣病などが急にわるくなった。（たとえば高血圧、糖尿病など）」、「生活習慣病をもとに他の生活習慣病が生じた。（たとえばがん、心臓病など）」のような病状に、適切で密度の濃い診断と治療を行う医療のことをいいます。どこの地域にも当てはまりますが、地域の医療資源（病院や診療所の設備、医師、看護師などの人材等）には限りがあり、それぞれの医療機関が分担する役割を明確にすることが、地域の医療資源を守るためには重要なことであると思います。市立病院は急性期の病院としての役割を果たし、亀岡の資源である他の医療機関と役割分担を的確に行っていく（これを連携医療といいます）ことで、亀岡全体の地域医療が守られ、よくなることが期待できると考えております。このような考え方で市立病院を運営してまいりたいと思います。今後とも市民の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



亀岡市立病院 病院長 上田 和 茂

## 循環器科の紹介

こんにちは、循環器内科の松尾と申します。当院循環器科の診療内容については、以前の号で簡単に紹介させていただきました。現在、循環器科の常勤医師は私1人です。入院治療につきましては、開業医の先生方から地域連携室を通じて、高齢の方の慢性心不全や不整脈など心臓疾患の治療を担当させていただいており、心臓カテーテル検査、ペースメーカー治療などを、大学から派遣される非常勤医師とやっております。高度な循環器治療や心臓外科的治療は近隣の大病院に地域連携室を通じてお願いしています。外来診療は、京都府立医科大学循環器内科から新進気鋭の先生方を招き、通常の心臓診療から高度医療の相談まで対応しています。今回の号では、この先生方のプロフィールを掲載し、みなさんに紹介したいと思います。内容は①名前②年齢③出身④得意とする診療内容⑤趣味など⑥皆さんへのメッセージです。

### 月曜日

①北村 洋平(きたむら ようへい)  
②31歳  
③京都市、三重大学卒  
④心不全治療など  
⑤海外ボードゲームを収集すること(遊ぶことより集めることに夢中です)  
⑥ 昨年度から月曜日の循環器内科外来を担当し、今年で2年目になります。狭心症や心不全、不整脈などの循環器疾患に限らず、高血圧・高コレステロール血症・糖尿病などの生活習慣病も診療しております。生活習慣病は初期には症状がありませんが、長年放置されたことで脳・心血管病(脳梗塞や狭心症・心筋梗塞)などを発症し、生活の質が低下する方が多いため、若いうちから長期に渡る生活習慣の改善や薬による治療が重要と考えております。もし健康診断などで何年も生活習慣病を指摘されているようであれば、ぜひ気軽に相談にいらしてください。

### 火曜日

①有吉 真(ありよし まこと)  
②31歳  
③京都府城陽市  
④狭心症や心筋梗塞、心不全をはじめ、循環器疾患全般について外来診療を行っています。  
⑤野球(一昨年、張り切ってプレーし過ぎて右上肢を骨折してしまいました…。)  
⑥平成17年に京都府立医科大学を卒業し、済生会京都府病院での2年間の研修後、京都市立病院、京都第一赤十字病院を経て、現在は京都府立医科大学循環器内科大学院に在籍しております。研究テーマとしては、心臓のポンプ失調である心不全の際に、細胞内小器官の一つ「ミトコンドリア」の機能がどのように関与しているのかを検討しております。現時点では直接患者様の治療には結びつくまでには至っていませんが、臨床応用に繋がるよう地道な研究を続けていきたいと考えております。患者様にとって身近な存在となり、微力ながら患者様のQOLの向上や、亀岡を中心とした地域医療に貢献できるよう精一杯努力していきたいと思いますので、宜しくお願いします。

## 水曜日

- ①赤壁 佳樹(あかかべ よしき)
- ②32歳
- ③京都市伏見区
- ④循環器全般(虚血性心疾患・心臓弁膜症、不整脈)
- ⑤ゲーム、釣り
- ⑥「患者さんの持っている病とは身体に出ている状態だけではないのだ」と考えさせられる日々です。疾患として捉えるのではなく、病の背景まで汲み取り、患者さんに関わる様々な方と共に最適なケアを選択できる環境が理想的であると考えています。また外来での循環器診療は、多くのコメディカルスタッフ(看護師さん・検査技師さん・クラークさん・薬剤師さん・栄養士さん等)の協力のもとに成り立っています。循環器診療を必要とされる患者さんの数に比し、スタッフの人数・時間には制限があり、患者さんのすべての要望に応えることは困難な場合もありますが、多くの方々と共にチームとして患者さんの病に向き合っていきます。

## 木曜日

- ①小形 岳寛(おがた たけひろ)
- ②40歳
- ③筑波大学医学専門学群(H9卒)、筑波大学大学院医学研究科(H16卒)出身地:千葉市
- ④心不全、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)  
慢性腎不全
- ⑤過去には車で色々なところへ足を延ばすことを趣味としていました。そのおかげで日本全国の大きな都市の道路のイメージが、今でも詳細に頭に入っています。最近は忙しくてどこにも行けないのが残念です。
- ⑥心不全研究・心筋再生研究のために京都府立医大に来て、今年で3年目になります。今はまだ改善が困難な重症心不全患者さんに希望となる治療法が確立出来ればと日々奮闘中です。亀岡地域医療のさらなる充実に貢献できるよう微力ではありますが一所懸命診療させていただきます。

## 金曜日

- ①大川 善文(おおかわ よしふみ)
- ②34歳
- ③京都市
- ④虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)を中心とした循環器疾患
- ⑤仕事と実験
- ⑥平成16年より京都府立医科大学卒後臨床研修センターで2年間の研修後、社会保険神戸中央病院、舞鶴共済病院で循環器領域を中心に診療を行っておりました。現在は京都府立医科大学循環器内科学大学院に在籍し、研究を行いつつ、毎週金曜日亀岡市立病院で循環器内科外来を担当させていただいております。患者さまにより良い医療を提供できるように、日々努力してまいります。



# 管理部医事課の紹介

亀岡市立病院管理部医事課の紹介をします。

当院の医事課は、正規職員とアウトソーシングのスタッフで構成されており、日常の基本的な窓口業務は、アウトソーシングのスタッフが担当し、業務全般の管理や調整・特殊な専門的業務・地域との連携業務は、正規の職員が担当しています。

具体的な係としては、『医事係』『地域連携係』『情報管理係』で課が構成されていて、その仕事は主に次のようなものです。



## 医事係

患者様の当院での診療における事務処理全般を担当しています。毎日の外来診療の受付業務や診療費の計算、入院患者様の事務対応や退院時の事務処理。また、診断書などの各種書類の作成補助や管理業務なども行っています。

## 地域連携係

他の医療機関から患者様の紹介を受ける時や、当院で診療されている患者様を、他の医療機関に紹介する時に、そのパイプ役になる係です。また、患者様が利用されるいろいろな助成や制度のご案内も担当する係です。

## 情報管理係

今年度から新しく設置された係です。主な業務は、導入を予定している《電子カルテシステム》の企画検討から稼働までを担当しています。

このように、直接患者様の病気を治すという部署ではありませんが、患者様が治療に専念できるよう精一杯お手伝いを心掛けてまいります。



## 薬剤科より

当院では、抗がん剤による治療を外来や入院で行っており、薬剤師は抗がん剤治療に深く関与しています。

抗がん剤治療を始めるときはまず、医師が患者さんごとにプロトコル（治療計画書）を作成し、看護師がチェックします。次に複数の薬剤師が、患者さんの病名・体重・身長・腎機能などから、使用する抗がん剤の種類、投与量、溶かす輸液の種類や量、投与速度が適正であるかを確認しています。プロ

トコルに疑問点がある場合、医師と相談した上で修正し、適正なプロトコルに従い、安全キャビネット内で調製（注射を混合すること）します。さらに、調製された内容に間違いがないか別の薬剤師が確認しています。

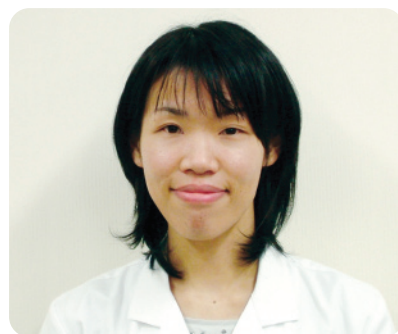
薬の調製・チェックだけでなく、医師から依頼があった場合は、患者さんが安心して治療が受けられるよう、投薬スケジュールや注意すべき副作用の症状・対応方法などを説明しています。患者さんに抗がん剤について知ってもらうことで、副作用を最小限に抑え、効果を最大限に引き出したいと考えています。今後も当院では、安全に抗がん剤治療が行われるように力を入れて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



## 消化器科・内科 宮永医員の自己紹介

4月1日より内科医師として勤務させて頂いている宮永靖子と申します。亀岡での生活は初めてですが、温かく迎えて頂いたことに大変感謝しております。

大学卒業後は京都第二赤十字病院、舞鶴赤十字病院にて、消化器疾患を中心とした診療を行って参りました。専門分野は消化器・内視鏡ですが、一般内科の診療にも携わっていますので、気になっている症状等があれば気軽に相談して頂ければ幸いです。内視鏡での検査や治療を中心に、内科疾患全般での診療にて皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



宮永 靖子

〈専門分野等〉消化器病学、内視鏡治療  
〈主な専門医・認定医等〉日本内科学会認定医

## 当院における情報化の推進について

市立病院では、平成25年春頃の電子カルテの導入を目指し、新たに医事課情報管理係が新設されました。「電子カルテって何？」

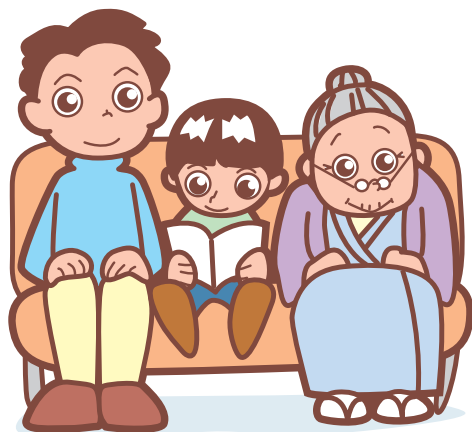
「必要なの？」

と思われるかもしれませんが、電子カルテとは、患者様からお聞きした症状や検査の結果・投薬内容・処置等の記録が書かれている紙のカルテ情報をコンピューター上にのせたものです。

この、電子カルテのメリットは、①情報の共有化、②スピード化、③分かりやすい医療情報の提供、④より安全な医療の提供などであり、診察を受けられる際に、患者様一人ひとりの診療記録や過去の状態などを素早く見ることができ、従来に比べスムーズな診療を行うことができます。

私達は、この電子カルテの導入に向けて「医療の質の向上」、「患者サービスの向上」を目指して取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

(医事課情報管理係長 竹内 浩之)



## 「看護週間」の取り組みをしました

5月12日は「看護の日」です。亀岡市立病院は、5月9日より14日まで看護週間事業を行いました。職員は期間中、胸に看護週間バッジを付け参加しました。職員の子供たちが描いた「病院で働くお父さんお母さんの姿」の絵画と実行委員会が撮影した「職員の働く姿」の写真は病院1階に掲示しました。市民の



皆さまにも好評でした。看護週間最終日の14日は、市民健康教室をはじめ、転倒予防のためのスクリーニングテストや骨密度測定、相談コーナー、車椅子体験や感染予防のための手洗いなど多くの市民の皆さまに参加していただきました。いろいろと不備がありましたが、来年以降も皆様のご要望を取り入れて行う予定にしています。亀岡市立病院を亀岡市民の病院として今後もおいにご利用いただければ幸いです。

## 4月から新たな仲間を迎えました

本年4月から、当院の常勤職員として、医師2名、看護師5名、臨床検査技師2名、事務職員1名の計10名を新たな仲間として迎えました。今回採用のメンバーは、他の医療機関等で経験を十分に積んだ者、子育てのためにしばらく業務から離れていた者、病院で働くのが初めての者など様々ではありますが、一日も早く各々の仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



前列左から：足立看護師・向川看護師・大村看護師・土尾看護師・時田看護師  
後列左から：東原内科医長・宮永内科医員・吉良臨床検査技師・木澤臨床検査技師・佐藤病院総務課主査  
(※東原内科医長は5月から非常勤)

## 病院職員紹介



手術室 看護師  
佐藤 正和

私の家族は、妻、長女、長男、次男、三男の六人です。今時珍しい大家族です。

そんな私達の共通の趣味、楽しみは硬式テニスです。きっかけは、家族で公園に遊びに行った時に、家にあったラケットで、ボールを打って遊んだ事でした。

その後、テニススクールに通い始め、子供達にいたっては、選手として試合にも出場するようになりました。

子供達の試合観戦では、一生懸命にコートを走り、

ボールを追いかけて、必死にボールを打っている姿から、成長を実感でき、親としての喜びをたくさんもらっております。

また、私も子供達に負けまいと、頑張っておりますが、もう、長女にはかないません。これも、親としての喜びです…。

皆様も、テニスに関わらず、家族みんなで楽しめる事を一つでもいいので持たれてはいかがでしょうか？

家族の絆が強まりますよ！



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者さま中心の医療を展開しています。そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

## 飯野小児科内科医院

院長：飯野 茂

住 所：亀岡市南つつじヶ丘大葉台2丁目44-1  
T E L：25-0015  
標榜科目：小児科、内科  
診療時間：午前9:00～12:00 午後5:00～8:00  
水、土の午後および日祝日休診

### 院長より一言

南つつじヶ丘で開業して早22年が経ちました。当初、近辺には子供さんが多く小学校の児童も千人を超えていましたが、今では400人弱と減少しました。それに代わり高齢化が進み、立地上坂がきついため外に出られず介護を要する方が増えてきましたので、平成14年3月診療所を移転し、通所サービスを始めました。そのため高齢の方を診る機会も増え、外来に受診されたり往診し、肺炎や骨折で入院を要する人も時々出てきます。その際には亀岡市立病院にお世話になりありがとうございます。

今後は患者様が安心して復帰できるよう、また現在どのような状況にあるかを知るために、退院される前には他の病院と同様、必ず今まで利用していた居宅支援事業所とのカンファレンスを持っていただきたいと思います。



## 栗山内科クリニック

院長：栗山 卓弥

住 所：亀岡市篠町篠向谷24-4  
T E L：29-6633  
標榜科目：内科、循環器内科、神経内科、老年内科  
診療時間：午前9:00～12:00 午後5:00～8:00  
木、土の午後および日祝日休診

### 院長より一言

この度お世話になった亀岡市立病院より広報誌に掲載される地域連携医紹介に関する原稿依頼をいただき、大変ありがたく思っております。早速ですが当院は平成22年1月に新規開設となり、現在のところ約1年3ヶ月余りが過ぎたところであります。上記由歴史が浅く未だに皆様の力をお借りし、御迷惑をおかけしながら日々の診療業務にあたっているところであります。

ここで簡単ではございますが自己紹介をさせていただきます。私は昭和60年に大学を卒業後、主として循環器内科を中心に内科全般の診察に携わって参りました。特に最終勤務地の亀岡市立病院におきましては、皆様方にも大変お世話になりました。

ところで私事で恐縮ですが、祖父母が亀岡在住であった事もあり、以前より亀岡には少なからず親近感を覚えておりました。それ故篠町におきまして開院させていただいております事は、何か第二の故郷に戻ってきたといった感さえあります。

今後は今日までにいただきました種々の貴重な経験を生かし、微力ながらも地域医療に貢献出来ましたら幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 編集後記

さわやかな風が吹き、散歩するには気持ちの良い季節となりました。亀岡市立病院は、開院8年目をまもなく迎え、そして、広報誌「桔梗」は6号目を発刊する事となりました。

今回、編集後記の番が回ってきました。色々悩んでいましたら、ある日読んだ新聞記事に共感したので紹介します。この話は実話だそうです、“女の子2人が公園に遊びに行き、1人の子が地面にあいた穴に落ちてしまった。もう1人の子は急いで家に帰り、大人たちに助けを求めた。「〇〇ちゃんが高い穴に落ちた」大人たちは高い穴？と不思議に感じたが公園へと急いだ。女の子の案内で現場へと着き、深い穴の中から女の子を助け出した。高い穴とは何か。伝えに来た女の子は、穴に落ちた女の子の目線で大人たちに訴えていたのだった。外から見れば深い穴だが、落ちた子にすれば見上げるほどの高い穴だったに違いない。”私達は、病院職員として日頃から「患者さんの立場になって考える」と言ってますが、ほんとに患者さんの目線で考えて行動していたのか、「高い穴」からの視点がなかったのか、考えさせられる記事でした。

今後も市民の皆さまに、わかりやすく読んで頂ける広報誌をお届けできるよう努めたいと考えています。

広報委員会委員 谷口 智宏(看護師)

### 編集委員からのお知らせ

本誌『桔梗』の表紙や挿絵に掲載させて頂く写真やイラストを募集させていただきます。  
テーマの規定はありません。みなさまより多数のご応募を心よりお待ちしております。  
採用、不採用に関わらず、写真やイラスト、画像データ等はご返却できませんのであらかじめご了承下さい。詳細につきましては、下記担当者までお問い合わせをお願い申し上げます。

【担当者】亀岡市立病院 病院総務課 岡田(平日、午前10時から午後3時まで)



JR馬堀駅から徒歩約5分/京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有

## 亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>

「がんばろう日本」～亀岡市は東日本の復興を支援します～